

干潟と芸術



untitled (cup), 2024 コップ、マイク、圧電素子、アンプ／東京藝術大学美術館 陳列館での展示風景

VOL.2 ARTIST: SYO YOSHIHAMA



untitled (window), 2024 振動スピーカー、アンプ、オーディオプレーヤー／東京藝術大学美術館 陳列館での展示風景

吉濱 翔 Syo Yoshihama

美術作家／サウンド・アーティスト

1985年沖縄県生まれ。2010年沖縄県立芸術大学絵画専攻卒業。
サウンドインスタレーション、フィールドレコーディング、カセットテープや
日用品などを使った即興演奏など、美術と音楽の間にある表現を

行う。2012年にトーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバルにて
奨励賞受賞。2017年にポーラ美術振興財団在外研修員として
イギリスに滞在。2023年きょうと視覚文化振興財団の支援を受け
個展を開催。同年、リスニング・ビエンナーレ・マニラ2023に参加。
映画音楽の制作に砂入博史監督『オキナワより愛を込めて』
(2023)、奥間勝也監督『骨を握る男』(2024) などがある。

日時：2026年9月26日(土)ー10月24日(土)
タイドウォークは土日祝に開催(予約制)
場所：千葉県木更津市盤洲干潟
及びJR木更津駅東口関連会場
<https://sites.google.com/view/artandtidalfats/tidewalk2026>
詳細・予約



ART AND TIDAL FLATS

干潟と芸術



Photo ©Art and Tidal Flats

VOL.2 ARTIST: SYO YOSHIHAMA

主催 | Art and Tidal Flats [ATF]

助成 | 公益財団法人 福武財団



干潟は潮の満ち引きにより、日々異なる風景が広がる場所です。海水や砂の中では、多様な生きものが潮のリズムに合わせて暮らしています。「干潟と芸術」は、千葉県木更津市の小櫃川河口から東京湾へと広がる盤洲干潟を舞台に、自然環境の中でアートと出会うイベントです。毎年1名のアーティストを招き、干潟のリサーチを通して干潟の風景や生きものの営みに寄り添い、漂着物や音、光、波など、その場に現れる変化を取り入れた制作を行っています。2026年のテーマは「干潟の音」。国内外で活動する吉濱 翔さん（美術作家／サウンド・アーティスト）を迎えます。

Photo ©Art and Tidal Flats



吉濱さんは、さまざまな自然環境で音を録り集め、その音を作品として別の場所に響かせることで、新たな空間を生み出します。干潟の風の中、水の中、砂の中で録音された音はどのように建物に再生され、わたしたちに響くのでしょうか。会期中の週末には干潟散策を含むツアー、タイドウォークを開催します。そこでは参加者の方々と干潟を歩き、自然観察をしながら耳を澄ませ、フィールドレコーディングも体験していただけます。お手持ちのスマートフォンを使って干潟の音をみんなで聞いてみませんか。

日時：2026年9月26日(土)ー10月24日(土)
タイドウォークは土日祝に開催(予約制)
場所：千葉県木更津市盤洲干潟
及びJR木更津駅東口関連会場
詳細・予約
<https://sites.google.com/view/artandtidalfats/tidewalk2026>

